

平成 18 年 11 月 14 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ
 代 表 取 締 役 社 長 三 木 茂
 (コード番号：3807 大証ヘラクレス)
 問 い 合 せ 先 :
 取 締 役 総 務 経 理 部 長 上 中 淳 行
 電 話 番 号 03 (5212) 8790 (代 表)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 8 月 11 日の中間決算発表時に公表いたしました平成 18 年 12 月期 (平成 18 年 1 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日) の業績予測について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 平成 18 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 1 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,085	111	68
今回修正予想(B)	983	26	13
増減率(B-A)	102	85	55
増減率(%)	9.40	76.58	80.88
<ご参考> 前期実績(平成 17 年 12 月期)	866	90	106

(2) 平成 18 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 18 年 1 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,013	105	62
今回修正予想(B)	944	43	26
増減率(B-A)	69	62	36
増減率(%)	6.81	59.05	58.06
<ご参考> 前期実績(平成 17 年 12 月期)	822	94	111

2. 通期業績予想修正の理由

(1) 連結(平成18年1月1日~平成18年12月31日)

通期連結売上につきましては、親会社である株式会社フィスコの売上における要因は、「2. 通期業績予想修正の理由(2)個別」に記載のとおりです。子会社における売上の状況で主たる変動要因となったのは、株式会社フィスコアセットマネジメントにおけるコンサルティング事業に係る成功報酬と株式会社フィスココモディティーにおける情報サービス事業であります。株式会社フィスコアセットマネジメントにおけるコンサルティング事業に係る成功報酬は、主として投資顧問サービスによるものを見込んでおりましたが、顧客ニーズが高くポートフォリオの主要構成要素となっている株式投資、特に新興市場において長引く市況調整の影響を受けており、この調整局面は今後とも継続する懸念があるため、予想通りの金額を計上することは難しいものと判断いたしました。一方、同社で進めている投資信託委託事業は認可取得が予定から2ヶ月程遅れ11月以降となり、投信関連事業の収益化も予定より2~3ヶ月遅れるものと見えています。また、株式会社フィスココモディティーにおける情報サービス事業につきましては、昨年12月の事業開始直後より潜在顧客に対する積極的な営業を行って参りましたが、契約条件として、一定期間のコンテンツ配信実績を求められるケースが予想以上に多かったため、上期は配信実績の積み上げと、下期以降に向けた顧客開拓およびニーズ発掘に注力しました。下期後半以降売上および契約件数は、着実に増加しておりますが、計画の遅れを完全に吸収するまでには至りませんでした。

この結果、連結売上高は前回予想を9.40%下回る983百万円となる見通しです。

通期連結経常利益につきましては、売上原価実績が予想を下回るため、上記売上減少による利益減少を多少やわらげる効果はありましたが、今後の成長に不可欠な人材面、システム面の投資は極力控えることはせず、結果、前回予想を76.58%下回る26百万円となる見通しです。

通期連結当期純利益につきましては、各子会社における税務上の繰越欠損金についての税効果を認識せず、連結合算による法人税等の金額がそのまま計上されることから、前回予想を80.88%下回る13百万円となる見通しです。

(2) 個別(平成18年1月1日~平成18年12月31日)

通期個別売上高につきましては、情報サービス事業におけるクラブフィスコ(個人向け情報販売事業)が、株式市況の低迷を受けて、予想を大きく下回る結果となりました。とくに新興市場で顕著だった調整の連続に、個人投資家の投資意欲は減退傾向にあり、新商品・サービスの積極投入を進めましたが、その落ち込みを補うには至りませんでした。コンサルティング事業では、上期の開始を予定していた地銀向けコンサルティングサービスの立ち上げが下期後半にずれ込むこととなりました。教育事業においては、外部委託による販売強化を進めましたが、今期中の業績に影響を与える成果には至りませ



んでした。この結果、株式会社フィスコの売上高は前回予想を 6.81% 下回る 944 百万円となる見通しです。

通期個別経常利益につきましては、人員増強による経費実績が予想をわずかに上回りましたが、上記売上高の予想との乖離が影響して前回予想を 59.05% 下回る 43 百万円となる見通しです。

通期個別当期純利益につきましては、前回予想を 58.06% 下回る 26 百万円の計上を見込んでおります。

以上

(注) 上記業績予想は、発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、多分に不確実な要因を含んでおり、実際の業績は今後の様々な要因によって業績予想と異なる結果になる可能性があることを予めご承知おきください。